

獣害対策掘り起こし防止コンクリートマット コンクリートキャンバス

▶ 製品説明

新技術情報提供システム **NETIS** 登録

新技術名称: コンクリートキャンバス工法 登録番号: CG-220009-A

コンクリートキャンバスは国土交通省のNETISに登録されています



イノシシ被害にお困りではありませんか？



イノシシなど野生動物の侵入による農作物への被害や、
地面の掘起しによる光ケーブル等の重要な地下埋設物の
損傷など、心配が後を絶ちません。

イノシシの侵入を防ぐには防護柵が効果的ですが、
柵の地際部や地下埋設物周辺の掘り起こしを防ぐには、
耐久性の高い材料で地面を覆う必要があります。



そんな課題を解決するのが
水をかけるだけで 高耐久なコンクリートマットができる
[特殊セメント封入布] **コンクリートキャンバス**

コンクリートキャンバスは特殊配合のドライコンクリートを立体織物（表面：ポリエステル織布、裏面：塩ビフィルム）内に内包した構造で、敷設後に散水、または水中に浸けることでドライコンクリートが硬化し、薄く、高耐久で耐火性の高いコンクリート層を構築することができます。

■ 獣害対策コンクリートキャンバス (CCT2) の仕様

厚さ (mm)	長さ (m)	幅 (m)	未硬化時重量
7.0 (-0.0/+2.0)	4.3 (-0.0/+0.5)	1.1 (-0.03/+0.03)	10.5kg/m ² 以上

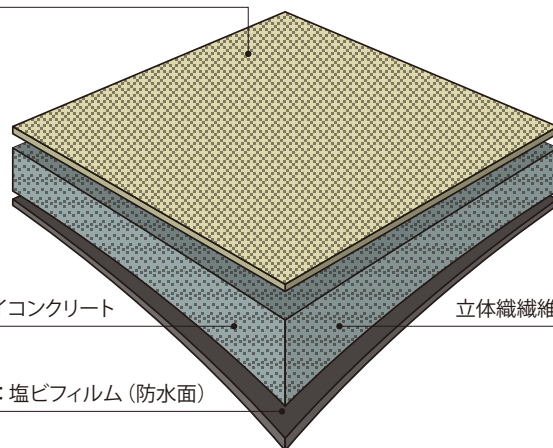
※英国規格の耐火、耐凍害など各種性能試験に合格。

表面：ポリエステル織布（透水面）

ドライコンクリート

立体繊維

裏面：塩ビフィルム（防水面）



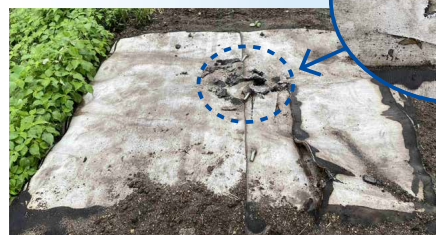
野生のイノシシを対象とした実験の結果、コンクリートキャンバスは
防護柵・フェンス下のイノシシによる掘り起こし防御や、
重要埋設物の掘り起こしに対する保護効果があることを確認※しました。



CCT2 四方アンカー埋設固定

- コンクリートキャンバス (CCT2) の下にエサ (サツマイモ・トウモロコシ等) を置き、掘り起こし防止効果や引き裂きに対する耐久性をモニタリング評価。
- コンクリートキャンバス端部は鼻で持ち上げられないように、溝を掘りアンカーピンで固定し埋設。

損傷範囲は10cm角程度で限定的



CCT2は破れ難く効果的

※自社実験による評価であり、対象とするイノシシの個体差やコンクリートキャンバスの施工状況により防止効果は異なります。イノシシによる掘り起こし防止を保証するものではありません。



防護柵の地際部の保護



自動車道周辺の保護



法面の保護